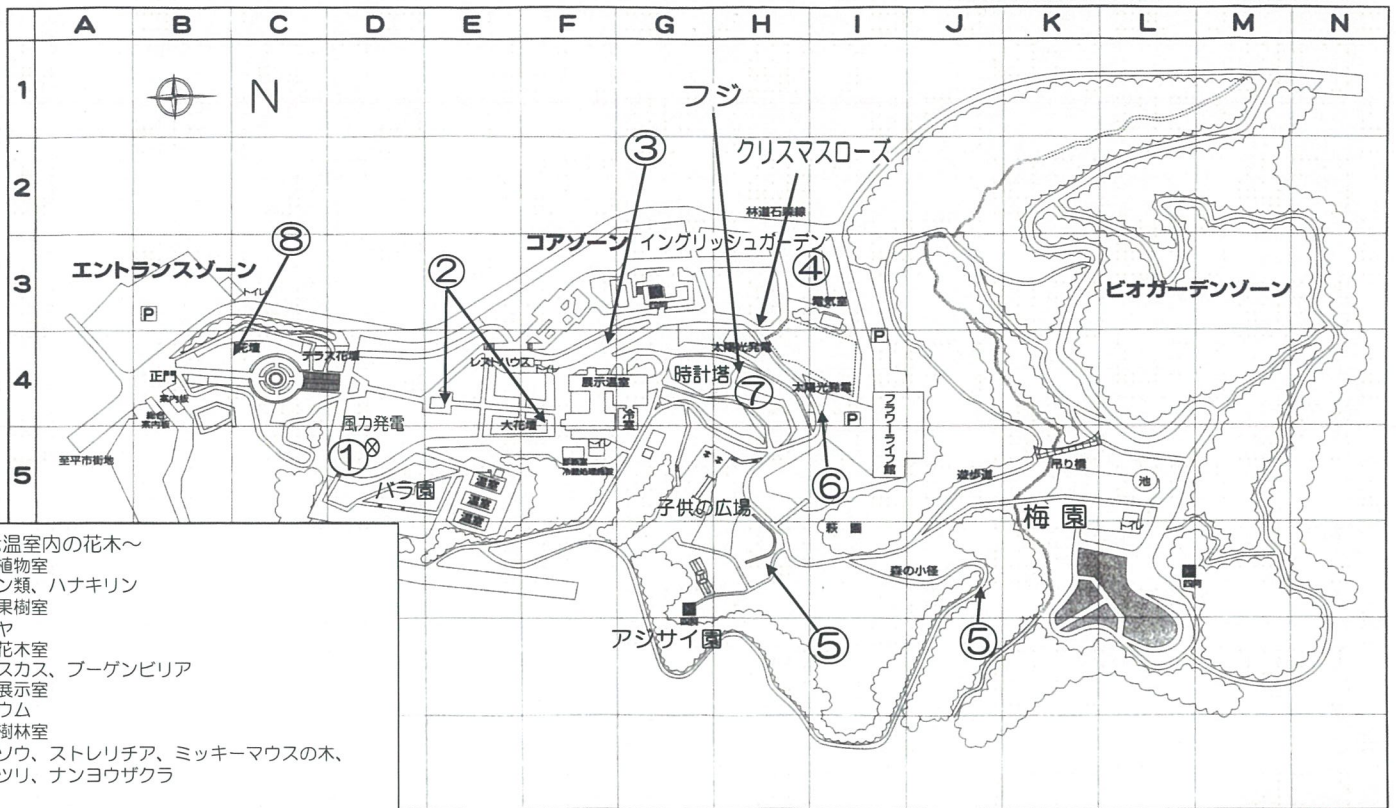


# フラワーセンター【5月の花】

2021年度

※園内の植物の盗難が相次いでいます 園内の植物は絶対にとらないでください。



～展示温室内の花木～  
 ・多肉植物室  
 サボテン類、ハナキリン  
 ・熱帯果樹室  
 パパイア  
 ・熱帯花木室  
 ハイビスカス、ブーゲンビリア  
 ・鉢物展示室  
 セラニウム  
 ・熱帯樹林室  
 コエビソウ、ストレリチア、ミッキーマウスの木、  
 ハンマツリ、ナンヨウザクラ  
 ・冷室  
 ミオソティス・アルペストリス、メキシコマンネンソウ

## ①ネモフィラ (風力発電下)



ハゼリソウ科 一年草 原産：北アメリカ  
 ネモフィラは森の妖精のような、澄んだブルーの花が愛らしく、春の花壇やコンテナの寄せ植えなどに多く利用されています。細かく切れ込んだ葉が密に茂り、自然に分岐して咲きながら大きくこんもりと成長します。

## ②パンジー (大花壇)



スミレ科 一年草 原産：ヨーロッパ  
 パンジーは数千とも言われるたくさんの品種があり、花の大きさ・色・咲き方をはじめとして途方もないバラエティーがあります。パンジーの名前はフランス語のパンセ(物思い)に由来し、花の咲いている姿が物思いにふけているように見えるところから名付けられました。

## ③ハンカチの木 (展示温室の西側通路沿い)



ミズキ科 落葉高木 原産：中国  
 4月下旬～5月上旬に、白いハンカチのような姿の花を咲かせます。ハンカチのように見える部分は苞と呼ばれる部分で、この苞がハンカチを2枚つるしたように見えることから「ハンカチの木」と言われています。

## ④ポタン (イングリッシュガーデンの北側ポタン園)



ボタン科 落葉小低木 原産：中国  
 中国ではボタンを「花の王」とし、富貴な花としてたたえられてきました。牡丹の花の開花時期は、4～5月にかけて開花しますが、花を開くのはわずかな間だけで、一つの花なら3～4日に過ぎません。直径が20cmを超える花もあるだけに、崩れるような花のはかなさも魅力の一つです。

## ⑤西洋シャクナゲ (子供の広場北側のシャクナゲ園)



ツツジ科 常緑広葉樹 原産：日本、ヨーロッパ  
 シャクナゲはボール状に咲く気品のある花が魅力です。日本の鉾山に生ずるものを日本シャクナゲ、欧米で品種改良されて日本に来たものを西洋シャクナゲと呼んでいます。

## ⑥モッコウバラ (フラワーライフ館駐車場のフェンス沿い)



バラ科 常緑つる性低木 原産：中国  
 モッコウバラは常緑でトゲがないため扱いやすく、そしてバラの欠点である病害虫や耐寒性・耐暑性ともに強いため、とても育てやすいバラです。花は一季咲きで白または黄色の八重咲で、小さな花が房状に十数輪ずつ咲きます。

## ⑦オオデマリ (時計塔の北側太陽光発電前)



スイカズラ科 落葉低木 原産：日本  
 高さが2～3メートルになる低木で、5～6月に球状に密集した花を咲かせます。花は咲き始めが黄緑色で、開くと白色になります。花のかたまりは直径10cmを超し、まさしくオオデマリ(大手鞠)の名がぴったりです。花の咲き方や雰囲気などがどことなくアジサイに似ています。

## ⑧ベニバナトチノキ (フラワーセンター正門前芝生他)



トチノキ科 落葉高木 原産：北米南部  
 樹高10m～15mに達する高木ですが、低いうちからよく花を咲かせるので鉢植えにしたり、樹高を抑えて庭木に利用されます。主な開花期は5～6月、枝先に赤紅色の花をまとめて咲かせて円すい状の花穂になります。